

グリーンハート^{だよ}便り

特定非営利活動法人グリーンハート

No41 令和6年1月号

(本部) 〒458-0036 名古屋市緑区六田 1-78

Tel : 052-624-9515 Fax : 052-693-9516

ホームページ <http://wcmapple.chagasi.com/>

就労継続支援B型事業所 ワークセンターメイプル

多機能型事業所わかた(就労継続支援B型・生活訓練)

緑区障害者基幹相談支援センター(相談支援事業所かえで)

地域活動支援センターしかやま



12月、地域活動支援センター →
しかやまでクリスマスツリーを
メンバーさんと共に飾りました

謹
賀
新
年



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年は12月位まで比較的過ごしやすい気候でしたが、厳しい寒さと汗ばむ程の日差しが交互に訪れる厳しい季節となりました。本年は辰年と言う事で、竜のように颯爽と高く登るような年になると良いですね。

当法人の障害福祉サービス事業はコロナ禍を経て、少しずつ制限の少ない日常を取り戻しつつあります。しかし、国の方針により消費税の課税対象となる課題が大きいのしかかっており、作業所でのささやかな製品作りや販売にも消費税の支払いが今後かかる見通しです。

利用されるメンバーの方の工賃やサービスに大きな影響のないよう尽力いたしますが、会員の皆様方の多方面にわたる協力が必要になっております。

皆様方のさらなる支援、協力を今年もよろしくお願ひいたします。

特定非営利活動法人グリーンハート 理事長 樋渡

今号のトピックス

- ・ミドリ・シティ・フェスティバル参加報告
- ・障害のある人もない人もともに作る緑区民のつどい報告
- ・みどり家族会30周年記念式典参加報告
- ・グリーンハート・みどり家族会地域交流会を開催しました
- ・事業所のこの頃



ミドリ・シティ・フェスティバル参加報告

さんか ほうこく

ワークセンター
メイプル

令和5年10月28日(土)、今年も緑区民祭り(ミドリ・シティ・フェスティバル)が開催されました！

昨年度は感染対策を行いながらの再開でしたが、新型コロナウイルス感染症の第5類移行により、制限のないコロナ禍以前の形式での開催となりました。

前日の雨模様で心配されましたが、当日は晴天に恵まれ、気持ちのいい青空となりました。

多くのお客様が来場され、販売ブースは一日大忙し！今回初めて参加したメンバーさんからは、「お客様に直接買ってもらえたり、お話す事がとても楽しかった！またこういうイベントに出てみたい」と感想をいただきました。

ワークセンターメイプルの出店している「障害者と区民の集い」では、今まで緑区の障害者団体や当事者のご家族が出展し、地域への普及啓発・当事者自身の表現や社会参加の場として長年活動を続けていました。

しかし、各事業所の人員不足、今までご尽力いただいたご家族の高齢化やコロナ禍による感染対策での出店取りやめ等により、年々参加団体は減少しています。メンバーさんにとっても1年に1回の大切な機会を、今後どのように継続していくのが、来年度に向けての課題となっています。

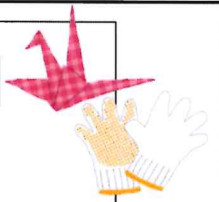
皆さんお疲れ様でした。(中根)



「せーの！みんなの笑顔求めて再出発！」

えがお もと さいしゅっぱつ
いっしょ ふくし たいけん

～一緒に福祉体験～



今年度の「第12回 障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」は、10月28日(土)に開催された緑区民祭りの会場の中の「障害者と区民の集い」エリア内の1ブースとして開催しました。

今年のテーマは「せーの！みんなの笑顔求めて再出発」～一緒に福祉体験～でした。企画内容は障害体験を通じて、地域で誰もが笑顔で暮らせるような障害のある方の世界を知る機会を設けました。

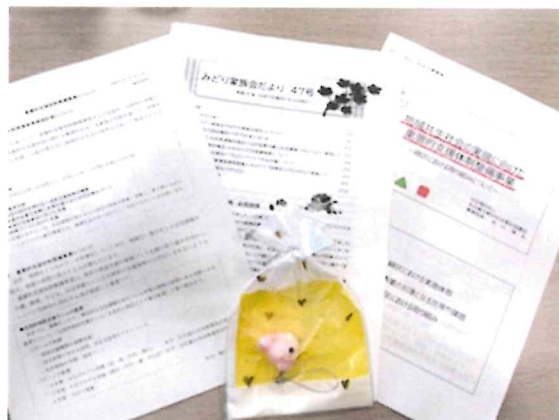
当日は「障害者と区民の集い」エリアでの実施だった為、緑障会に所属の他の事業所さんとの関わりがありながら開催できたこともあり、当事者の方、ご家族の方、支援者や区民の方との交流ができ、沢山の仲間がいることを実感できました。

ステージ発表の時間ではメイプルのメンバーさんと一緒に、メイプルの紹介とつどいの目的や説明等を直接区民の方々にお伝え出来ました。

少しでも区民の方に声が届くことを祈りつつ、メンバーさんとドキドキしながら、発表をすることができ良い思い出になりました。ありがとうございました。

また今後も、障害があってもなくてもそれぞれの人が理解し合い、共に生きる事が出来る社会を実現するため、誰にとっても幸せな社会を一緒に作る取り組みを継続していこうと思います。今後ともよろしくお願ひします。(杉戸)

みどり家族会 30周年記念式典に参加しました



令和5年10月1日(日)、なるこ集会場で行われた「みどり家族会 30周年記念式典」にお招きいただき出席をさせていただきました。

当法人からは樋渡・三尾・野浪で出席しました。まずはこのような節目となる大切な会にお招きいただいたこと心より感謝申し上げます。

当法人とみどり家族会はともに30年を歩んできたと思います。緑区に精神障害者のための作業所を作ろうという支援関係者・本人・家族・地域の方々の動きの中で先にみどり

家族会さんが発足した後、緑区で初めてとなる作業所「かえで作業所」が始まったことが出発点となりました。

それから30年の月日が流れ、法律も社会情勢も大きく変化していますが、今も変わらず“かえで”はあり続けています。またこれからも変わらず、みどり家族会さんとともにあり続けると思います。

式典においては「重層的支援体制整備事業について」名古屋市緑区保健福祉センター福祉部福祉課包括的支援等の推進担当主査の三浦氏、名古屋市緑区社会福祉協議会事務局長の吉川氏が講演され、今後の取り組みやより良い支援体制を築いていく上での意見交換が活発に行われました。

コロナ禍を経て久々の対面集合となり顔を合わせてお話することができたこと、お互いの体調を気遣ったり近況を話したりすることができて大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。(野浪)



グリーンハート・みどり家族会地域交流会開催

令和5年11月22日(水)、グリーンハート・みどり家族会地域交流会を開催しました。

地域交流会は、当時小規模作業所の運営の中心を担い、作業所メンバーや職員、みどり家族会さんや緑保健所(現 緑保健センター)相談員さん、地域関係機関の支援者さん等で構成された「運営委員会」が前身となっています。時代の変遷と法制度の変更により、NPO法人化、障害福祉サービス事業化を行う中で、運営の担い手は法人となりました。

運営委員会は終了しましたが、緑区のこころの病や精神障がいを抱える当事者の支援において、今後もみどり家族会さんと交流し、地域の中での情報共有や繋がり作りを行う場として新たに生まれ変わり、コロナ禍を経て今回開催しました。会では当法人の各事業所の現状や、みどり家族会さんの現在の活動についてお互いに共有しました。

年月を経ても変わっていない部分もあり、変わった部分もあり、「今のグリーンハート(家族会)はこんな雰囲気なんだね」という事をお互いに知る機会となりました。今後も年に2回ほど、定期的開催していく予定です。

ご参加いただき、ありがとうございました。(中根)





ワークセンターメイプル



かえでの自主製品、11月はハロウィンバージョンのアニマルばさみを販売しました。

12月はクリスマスバージョンで「サンタと動物セット」のアニマル

ばさみを販売しました。

買っていただけるお客さんも多く、メンバーさんからも好評でした。

今は来年の干支の竜のアニマルばさみをお裁縫が得意なメンバーさんが中心となって鋭意製作中です。

かえでの自主製品をたくさんの人に知ってもらい、手に取っていただけることがみんなのやる気や活力につながっています。

色んな人に「買いたい」と思ってもらえるよう試行錯誤していきたいと思います（中村）

多機能型事業所わかた

わかたは令和5年10月で5周年となりました。

B型ではメンバーが増えるにあたり、作業工程の簡易化、羊毛フェルトばさみや内職等作業の幅を増やす等、メンバーの体調に合わせて作業を選べるようになってきています。



↑11月の行事もみじ狩り

また、当事業所の向かいにある、まつやま歯科医院様から草取りのお仕事を頂いており、草取りの仕事にやりがいを感じているメンバーもいます。

途中喫茶店の営業時間を11時～13時と短縮しましたが、数年変わらず来店してくださるお客様もあり、地域の方々の支えもあり5年目を迎えることができました。

今後も10年20年と続いていく事業所になればと思います。（横山（詩））

地域活動支援センターしかやま



↑ほうれん草とベーコンのスパゲティ

10月は久しぶりに料理プログラムも行いました。

参加者の料理経験は様々ですが、役割分担して作り、同じテーブルを囲んで食べることができ、「おいしい！」と大満足で終わりました。

11月は「季節の行事」で卓球大会を開催しました。コロナの流行でスポーツから遠ざかっていましたが、しかやま内でもスポーツができるようになればと、机の上に緑の合板を置いて卓球台にしました。

制限時間内でラリーがどれだけ続くかを競い、卓球が得意な人もあまり得意ではない人も楽しく汗を流し、声援を送りあいました。

コロナでできなかった事が少しずつできるようになってきていますね。来年はしかやまでも、料理や体育館でのスポーツなども復活させて、皆でワイワイできるようなプログラムをしていきたいです！（小出）

相談支援事業所かえで

基幹センターの横山です。昨年の4月より地域活動支援センターしかやまから異動になり、早いもので半年が経過しました。

基幹センターでは認定調査や協議会活動、各ケースの基本相談など様々な業務があります。様々なケースと関わり、とても良い経験をさせていただいておると感じております。毎日勉強になる事ばかりで忙しくもありますが、日々成長を感じております。

そんな中でも自分一人ではどうにもならないことが多く、その度に基幹センターの先輩方や他事業所の方々のサポートを受け、一人でケースに関わるのではなく基幹センターや地域全体で連携してケースに当たっていることの重要さや連携の必要性を日々実感しています。

今までグリーンハートで培われた経験や、横の繋がりが異動になった後も強く生きて自分の支援の軸となっていると実感しています。（横山（達））